



# HAPPY JAZZ TIME Vol.2



100年ちょっと前にアメリカで生まれたジャズ。アフリカ音楽のリズムと西洋の音楽が融合して発展し、アメリカからヨーロッパへ・日本へ世界へ。様々な音楽が自由に混ざり合い、多様化し、伝統的スタイルも新しいスタイルも、どれもが発展し続けているジャズ。おおらかで自由に楽しい音楽、ジャズ。今年の「慈生会チャリティーコンサート」は、今、日本の様々な音楽シーンで活躍するクラリネット奏者 鈴木直樹がリーダーのジャズユニット「鈴木直樹&スウィングエース」が登場します。古いジャズ、新しいジャズ、昭和の和製ジャズ・・・皆様お馴染みのあの曲も、この曲も・・・Happyな時間をぜひお楽しみください！

## 「鈴木直樹&スウィングエース」 出演者プロフィール

### 鈴木直樹 (スズキナオキ) : クラリネット&サクソ

東京音楽大学付属高校クラリネット専攻卒。  
クラリネットを佐野博美氏、内山洋氏に師事。サクソを松本英彦氏に師事。  
戦後一世を風靡した「鈴懸の径」で有名なジャズ・クラリネット奏者 鈴木章治 (伯父) の演奏を幼少時代から身近に聴き、多大な影響を受け、卒業後プロ活動を始める。  
スウィング・スタイルをバックボーンに、デュオからビッグバンドまで多くの編成を率いて活動する他、ソリストとして国内外の多くのコンサートに出演。吹奏楽団・管弦楽団などとの共演も多数。  
また、自身のBig Band「鈴木直樹&Swing Ace Orchestra」を率いて、「愛・地球博」や、ホテルのディナーショー、コンサート等にも出演。  
繊細かつパワフルな音色、正統的なスウィング・スタイルを継承しつつ、独自のスタイルを加味したスピード感溢れる演奏は、ジャズ専門誌(スウィングジャーナル)の人気投票でも多くの支持を得ている。  
ピアノ/故エディー・ヒギンズ、山下洋輔、クラリネット/北村英治、ヴォーカル/ベギー・葉山、菅原洋一、阿川泰子、井上芳雄、二胡/ジャズ・パンファン、チェン・ミン各氏等々、国内外のアーティストとの共演も多く、プロデューサーとしても多くのコンサートを手懸け、2015年からは「新城(しんしろ)ジャズ」の音楽監督も務める。  
またスタジオ・ミュージシャンとしてジャンルを越え、年間100曲を超える録音に携わっている。(RMAJ\_NPO日本レコーディングミュージシャンズ協会会員)  
トルコの民族楽器、ターキッシュ・クラリネットの演奏も(NHK BSドキュメンタリー番組内)大きな注目を集め、その独自の世界観でクラシック、現代音楽等々、多岐にわたる演奏活動を展開している。2018年6月、5枚目のリーダーアルバム「Corridor」をリリース。2019年1月には、「西脇基金応援団」主催(りーだる会堂大ホール)のコンサートにビッグバンドを率いて出演予定の他、2019年度(6月、9月、12月、2020年3月)杉並公会堂共催事業「鈴木直樹&落語家 立川寸志「昭和と音楽とおしゃべり」でショー〜如何なものか〜」(仮名)落語会ともジャズライブとも違うステージショーを企画、出演の予定。

### 青木 研 (アオキケン) : バンジョー

1978年千葉県流山市出身。7歳頃、二村定一などの唄う「ジャズ小唄」(君恋し、私の青空、アラビヤの唄)をはじめとする、蓄音機やそこから流れる戦前音楽に親しみ、それらの曲に使われていたバンジョーのサウンドに特に強い魅力を感じる。  
13歳で初めてバンジョーを手にしてから、ディキシランドジャズで使われる4本弦のバンジョーをほぼ独学でマスターする。千葉県柏の東葛飾高校在学中より演奏活動をスタート。  
ライブハウス、ホール、イベント、テーマパーク、ホテル、レストラン、客船、内外ジャズフェスティバルやバンジョーフェスティバル、ラジオ、TV等で演奏。2010年、アメリカ・サンノゼのバンジョー大会にヘッドライナーとして、2011年、FIGA主催の全米バンジョーコンヴェンションに、2013年はハンガリーで開催されたジャズフェスティバルにソリストとして招聘される。バンジョー主体の演奏の他、数多くのディキシランド/スウィングジャズの演奏家をはじめ、ブルグラス、ジャズバンド奏者、管弦楽団、吹奏楽団との共演、ソリスト、歌手等のサポートなど多岐のステージを通じ、楽しげなステージングと華麗なテクニックで観客を魅了している。  
米JAZZ BANJO MAGAZINE、ALL FLETS、オランダBN/DESTEM誌、ジャズ批評社「ジャズ批評」JAZZLIFE誌、等で特集記事が組まれる。  
日本では数少ない、ソリストとして演奏することのできるバンジョー奏者。



### 宅間善之 (タクマヨシユキ) : ピブラフォン&パーカッション

幼少の頃よりマリンバ奏者である父・宅間久善の影響を受け、マリンバを始める。高校在学中よりジャズに興味を持ち、マリンバと並行してピブラフォンを始め、高校卒業後、アメリカのパーカー音楽院に留学。在学中に上原ひろみ等と共演。2002年、Most Active Mallet Players Awardを受賞。  
近年は自己のグループ「Vibrasonic」で作編曲も担当し、首都圏有名ライブハウスで活躍中。  
初のリーダー作として、ファーストアルバム「diario ~ディアリオー~」を、LIVE LAB.から「宅間善之 Vibrasonic」のライブDVDを発売、東名阪でのリリズツアーも大好評を博す。  
また、女優 渡辺えりのコンサートツアーメンバーとしての活躍、編曲家としてグラミー賞を多数受賞したジャズピアニスト、デビッド・マシューズ、オカリナ奏者宗次郎との競演や、スタジオミュージシャンとして水川きよよしや富田勲氏の作編曲によるレコーディングも行う。  
ジャズ、フュージョンを中心にラテン音楽、クラブミュージック、演劇、ヒーリングミュージックなどジャンルを問わずに精力的に活動している数少ないマレット&パーカッション奏者である。

### 板垣光弘 (イタガキミツヒロ) : ピアノ

東京都中野区出身。4歳からクラシックピアノをはじめ、桐朋学園大学附属子供のための音楽教室にて音楽の基礎を学ぶ。中学高校時代(中野区立第九中、都立西高)は吹奏楽部でランペットに熱中。92年中央大学法学部法律学科に入学、中央大学Swing Orchestraならびにモダンジャズ研究会に参加。Jazzと出会う。大学4年の時に再びピアノに転向。卒業後サラリーマン生活を経験するが、Jazzへの情熱を断ち切れず、'98年退社。幸島文雄氏に師事し本格的にJazz Pianoの勉強を始め、多くのコンテストに出場。本格的にプロ活動を開始する。以後、坂田稔(ds)、佐藤春樹(tb)、村上寛(ds)、鈴木勲(b)、角田健一(tb)ビッグバンドなどのグループに参加のほか多くのセッション、サポート、レコーディングにも参加する。  
また定期的にしている女優宮本信子のJazz Liveのバンドリーダー並びにアレンジャーを2003年から担当。  
自己のPiano Trio「板垣光弘JUNCTION」ではこれまでに「[JUNCTION]」「[JUNCTION]」2枚のアルバムを発表。2006年8月には、音楽評論家瀬川昌久氏の推薦により、「第38回サマージャズフェスティバル(比谷公会堂)」出演。好評を得る。エリックマリエンサル(as)ボビッシュー(tp)など海外ミュージシャンとの共演の機会も得ている。現在も東京新宿ピットインなどに定期的に出演。精力的に活動中。

### 大塚義将 (オオツカヨシマサ) : ベース

1986年群馬県出身。  
13歳からギターを始め、高校入学と共に吹奏楽部でベースを始める。  
専修大学ビッグバンドサークルに入学し、様々なジャズに触れ、またベーシストのRay Brownの演奏には強く感銘を受け、独学でジャズを学ぶ。同大学のコンボジャズサークル「MJAブルーコーラル」にも籍を置き、ジャズのハーモニー、アンサンブル等多くのことを学ぶ。  
この頃から、都内のライブハウスなどで演奏活動をするようになる。2010年7月、2011年6月にはジュリアード音楽ジャズ科の院主任教授であるCarl Allen氏と共演。現在も都内を中心に精力的に演奏活動を行っている。

### 堀越 彰 (ホリコシアキラ) : ドラム

海老沢一博氏、村上「ボンタ」秀一氏に師事。'90年、「山下洋輔ニュートリオ」でデビュー。国内を始め、ヨーロッパツアー、南米ツアー、ベルギーの野外コンサート、日本全国縦断88ヶ所サバイバルツアー等に参加。'94年新たに「山下洋輔デュオプラス」として活動を開始し、10年に及びレギュラーユニットとして活動。  
日舞家の父の影響から、ジャズのみならず邦楽、民俗音楽とのセッションなど、幅広いジャンルにおいて国内外で活動。伊藤多喜雄、チェンミン等とも共演し、イベント構成・演出も手がけ、楽曲提供も行なう。  
「THE WILL」「東方異聞」「SOLO-ist」などを主催した後、'12年、尺八奏者小濱明人と「LOTUS POSITION」結成。'15年、山下洋輔も加わり、国際交流基金主催でチェコ・スロヴァキア四都市ツアーを成功させ、アルバム「LOTUS POSITION with 山下洋輔」リリース。'16年、デヴィッド・ルヴォー演出舞台「ETERNAL CHIKAMATSU」に参加。シルク・ド・ソレイユで活躍したパトリック・フィリップ・エマールらと組む「INSTINCT」でも活動中。  
都内に2カ所のドラムスクールを持つ。

## 「ベタニアの家」とは…

故ヨゼフ・フロジャク神父によって創立されたカトリック・ベタニア修道女会、社会福祉法人慈生会、学校法人東星学園の総称です。



※諸般の事情により、出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。あらかじめご了承下さい。

※開演に遅れますと、ご入場を制限させていただく場合がございますので、時間に余裕をもってご来場下さい。

#### ●電車・地下鉄

西武池袋線・西武有楽町線・都営地下鉄大江戸線(練馬駅)北口から徒歩1分

#### ●車の場合

「練馬駅」北口地下駐車場(有料)をご利用ください。

471台収容 / 30分ごとに200円

【お問い合わせ先】

「練馬駅」北口地下駐車場管理事務所 TEL / 03-3557-5190

練馬文化センター 〒176-0001 東京都練馬区練馬1-17-37  
TEL: 03-3993-3311 (代表)